

# 第10回 情報教育方法研究発表会

## 開催要項

日 時：平成 14 年 7 月 6 日（土）10：00～16：50  
場 所：アルカディア市ヶ谷（東京、私学会館）5 F  
東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL:03-3261-9921  
JR・地下鉄有楽町線・都営地下鉄 市ヶ谷駅下車、徒歩 2 分  
主 催：社団法人 私立大学情報教育協会  
後 援：文部科学省

### 開催趣旨

本発表会の目的は、大学・短期大学の教職員によるコンピュータ、ネットワークを活用した教育方法を促進・奨励し、ユニークな教育システム、教材開発等の成果の発表を通じて大学教育全般の質的向上をはかることを目的とするものです。また、優れた教育方法には、関係者の教育業績として高く評価し公認するため、文部科学大臣賞（最優秀賞）、私立大学情報教育協会賞（優秀賞）等による顕彰を予定しております。

参加対象 大学・短期大学の教職員、賛助会員

参加費 加盟大学・短期大学、賛助会員： 6,700 円（税込）  
非加盟大学・短期大学： 10,050 円（税込）

申込方法 「参加申込用紙」に記入の上、郵送または FAX にて送付し参加費を振込み下さい。参加申込用紙を FAX で送付の場合は、電話にて着信確認下さい。

#### キャンパスや部署で一括申込みの場合

参加費振込もできるだけ一括し、振込依頼人名には大学名の他にキャンパス名もしくは部署名を入れて下さい。

#### 個人申込みの場合

参加費の振り込み依頼人名には、大学名と氏名の両方を必ず入れて下さい。

申込締切 7 月 1 日（月） \* 申込締切日を過ぎても、会場に余裕がある場合は受け付けますのでご連絡下さい。

参加費振込期日 7 月 3 日（水）

振込先 あさひ銀行市ヶ谷支店 普通預金 0 0 5 4 4 0 9

(シブ) シジョウキョウ

名義人（社）私情協

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14No.1 山崎ビル 4 F

TEL:03-3261-2798

\* 振込手数料は申込者各自で負担願います。

\* 振り込まれた参加費は原則として返金しません。また、無断欠席で参加費未払いの場合は後日請求させていただきますので、あらかじめご了承ください。

送付先・問い合わせ

社団法人私立大学情報教育協会事務局

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14 No.1 山崎ビル 4 F

TEL：03-3261-2798 / FAX：03-3261-5473

E-mail:info@shijokyo.or.jp （電子メールでの申し込みは受け付けられません）

# 第10回情報教育方法研究発表会 発表者一覧

\* 発表は4会場に分かれて行います。

\* 発表者名は紙面の都合上、発表代表者のみ掲載しています。

64件

時間		発表題目	発表代表者名	所属大学名	会場		
10:00	A 情報専門分野の教育、リテラシー教育	A-1 表計算ソフトによる金利計算	戸塚 英臣	日本大学	5 F 大雪西		
10:20		A-2 コンピュータ非熟達者に対する「教示」の効果 - 学生の心理に配慮した効果的な情報処理リテラシー教育のための考察 -	後藤 靖宏	北星学園大学			
10:40		A-3 映像メディアリテラシーの向上を目指して	音 好宏	上智大学			
11:00		休憩 (10分)					
11:10		A-4 多人数基礎情報教育授業の実施に関する工夫について	小林 貴之	日本大学			
11:30		A-5 図形表現を目指すプログラミング教育	森下 博	兵庫大学			
11:50		A-6 新しいリアプシー教育の提案 - 検索エンジンを利用した自己啓発の試み	川島 高峰	明治大学			
12:10		昼食 (60分)					
13:10		A-7 理工系学生のためのコンピュータリテラシにおける取り組みと実情	伴 周一	日本大学			
13:30		A-8 ネットワークを利用した感性の計量化シュミレーションについて	安里 肇	沖縄国際大学			
13:50		A-9 教育用マルチメディアコンテンツに関する学習者の評価測定	平良 直之	沖縄国際大学			
14:10		休憩 (10分)					
14:20		A-10 マルチメディアソフトによるアニメ絵本の作成	海老原初夫	愛知女子短期大学			
14:40		A-11 初等アセンブラプログラム評価支援システムの開発と活用	渡辺 博芳	帝京大学			
15:00		A-12 プログラミング教育におけるビジュアルな教材の開発とその教育効果	内田 智史	神奈川大学			
15:20		休憩 (10分)					
15:30	A-13 ビット誤り検出・訂正技術の数式処理ソフトによる教育方法	小林 哲二	日本工業大学				
15:50	A-14 Java言語における理解順序の統計的分析	武村 泰宏	大阪芸術大学短期大学部				
16:10	A-15 ものづくりをメインにおいた情報工学実験カリキュラムの作成	神垣 太持	広島国際学院大学				
16:30	A-16 情報教育における”創成”演習科目の設計運用法 成長し続けるカリキュラムの実践	徳永 幸生	芝浦工業大学				
10:00	B 語学教育、教職課程	B-1 インターネットによる中国語音声教育システム - 中国語音声教育データベース -	湯山 トミ子	成蹊大学	5 F 大雪東		
10:20		B-2 マルチメディアデータベース型中国語教育のシステムの開発	石毛 文茂	明海大学			
10:40		B-3 中国語学習支援ツールの開発と運用 - 汎用的なCALL教材作成システムの構築をめざして -	中島 吾妻	広島工業大学			
11:00		休憩 (10分)					
11:10		B-4 英語運用能力を高めるための教授法と口頭英語表現実力テストによる効果測定	川成 美香	明海大学			
11:30		B-5 インターネットを活用した米ラジオ局の体験学習型英語教育	佐藤美恵子	九州女子大学			
11:50		B-6 Web Exploration と CMC を柱としたインターネット英語の授業法 - Out of the Fish Bowl and Into Open Seas -	伊東俊一郎	文京学院短期大学			
12:10		昼食 (60分)					
13:10		B-7 英文科における個別化教育 - 学科と教科の2つのレベルの視点から -	緒方 隆文	神戸山手女子短期大学			
13:30		B-8 同期型映像処理ソフトを利用した語学ビデオ教材作成の試み	和高 慶夫	玉川大学			
13:50		B-9 CCDカメラ活用による英語学習での情報発信能力育成	近藤 良子	国士舘大学			
14:10		休憩 (10分)					
14:20		B-10 自作コーパスを利用した学生研究～応用言語学者の養成	米岡 ジュリ	熊本学園大学			
14:40		B-11 CALL教室におけるフランス語時事問題の授業とその成果	井上 美穂	上智大学			
15:00		B-12 インターネットを利用した外国人学生のための知的な作文学習支援環境の提案	中挟知延子	東洋大学			
15:20		休憩 (10分)					
15:30	B-13 数学科教育法における授業づくり実践を支援するためのデジタル・ポートフォリオの作成と活用	鈴木 京子	日本大学				
15:50	B-14 教職課程の学生が作成したマルチメディア理科教材の変遷	佐藤 実	東海大学				
16:10	B-15 授業用サイトを活用した教育方法論の授業	山岡由美子	神戸学院大学				
16:30	B-16 幼児教育科学生のための情報教育カリキュラム「デジタル紙芝居」の実践	金田 重郎	同志社大学				

時間		発表題目	発表代表者名	所属大学名	会場		
10:00	C 専門分野の教育における応用活用	C-1 CD-ROM化画像教材とWebシステムの連携による組織学教育	磯川柱太郎	日本大学	5 F 穂高西		
10:20		C-2 重篤な副作用による医療事故を防ぐための医学教育 - インターネットと判例を組み合わせた演習 -	中木 敏夫	帝京大学			
10:40		C-3 マルチメディア教材を活用したローテーション実験の実践	新井加受子	園田学園女子大学			
11:00		休憩 (10分)					
11:10		C-4 統計物理学のコンピュータによる教育支援	鈴木 潔光	日本大学			
11:30		C-5 モデルベースドラーニングに基づく工学基礎教育支援システムの開発	青木 義男	日本大学			
11:50		C-6 実験と数値解析の実感教育におけるインターネットを利用したプログラム開発	新井 宗之	名城大学			
12:10		昼食 (60分)					
13:10		C-7 新しい視点に立った情報系ハードウェア技術演習授業の試み	高見 友幸	大阪電気通信大学短期大学部			
13:30		C-8 システム制御教育における対話型学習支援ツール	ケルモ ハレ-	岡山理科大学			
13:50		C-9 2D・3D CADシステムの図形科学の授業への導入とその効果	香取 英男	青山学院大学			
14:10		休憩 (10分)					
14:20		C-10 Web-Based Learningシステムによる建築設計教育 - Web型非常勤講師と同期・非同所による授業チャット -	衣袋 洋一	芝浦工業大学			
14:40		C-11 eXtreamProgrammingを応用した情報処理講座の運営	久保 裕也	千葉商科大学			
15:00		C-12 エクストリーム・プログラミング手法を用いた実社会連携型情報教育	井上 明	甲南大学			
15:20		休憩 (10分)					
15:30	C-13 初学者のための聴音用トレーニングプログラムの構築	荻原 尚	武蔵野短期大学				
15:50	C-14 メディアアーティスト育成のためのインタラクティブWeb学習環境の開発	高田 伸彦	金沢学院大学				
16:10	C-15 Technologyは考える道具 - 授業はTechnology活用で変わるか -	渡辺 信	東海大学				
16:30	C-16 ネット上に浮遊する学校「プシュケ・ネット」	岡田 昭夫	早稲田大学				
10:00	D 教育システム・ソフト	D-1 オンライン教材を円滑に利用するための独自ブラウザの開発	青木 収	日本工業大学	5 F 穂高東		
10:20		D-2 講義支援メールシステムとインテリジェントなレポート集配システムを活用した授業運営	川場 隆	活水女子大学			
10:40		D-3 教育の情報化とOh-o! Meiji クラス・ウェブ	安藏 伸治	明治大学			
11:00		休憩 (10分)					
11:10		D-4 学習履歴展示WEBの構築におけるレポート提出システムの開発と運用	藤原 勉	九州東海大学			
11:30		D-5 Web-DBとアクティブデスクトップを連携させた授業支援システムの開発	中山 良一	高千穂大学			
11:50		D-6 一斉授業と個人学習での相互利用をめざしたスタディ・スキルズの教材 - プレゼンテーション・ソフトの活用例 -	上村 和美	関西国際大学			
12:10		昼食 (60分)					
13:10		D-7 授業教材作成支援システムの開発とその成果について	近藤 篤俊	大谷女子短期大学			
13:30		D-8 AMLサイバーキャンパスシステムの主要機能とeラーニングへの実用化	玉木 欽也	青山学院大学			
13:50		D-9 「情報リファジー」大規模授業のためのeラーニングメソッドと実習システム	齋藤 裕	青山学院大学			
14:10		休憩 (10分)					
14:20		D-10 いつでもどこでも学べる個人対応型ライブ・VOD教育ツールの開発とその実践	石川 孝重	日本女子大学			
14:40		D-11 教材開発コラボレーションサーバ"Lissa"の開発と運用	佐久田博司	青山学院大学			
15:00		D-12 情報等教育統合ソフトの作成と動画像を用いた教材データベースによる教授法の取組み	中野 修	神戸学院女子短期大学			
15:20		休憩 (10分)					
15:30	D-13 双方向教育へのアプローチ - 携帯電話メールの活用と記述問題評価のビジュアル化 -	長坂 悦敬	甲南大学				
15:50	D-14 携帯電話を利用したリアルタイム授業評価システムの開発と運用	八尋 剛規	東海大学福岡短期大学				
16:10	D-15 提示教材に合わせた基本システムの選択システムの構築とその運用	守 啓祐	九州共立大学				
16:30	D-16 表計算ソフトを利用した履修申請システムの開発	新谷 公朗	常磐会短期大学				